

30amG-106

薬局・ドラッグストアに就職した薬学6年制1期生における事前実習及び薬局実習の教育効果

○寺田 綾子¹, 中村 美樹¹, 渡部 一宏¹, 串田 一樹¹, 廣原 正宜¹, 高野 昭人¹, 千葉 良子¹, 大澤 友二¹, 北島 潤一¹, 澁谷 文則¹, 萩原 幸彦¹, 濱島 肇¹, 濱本 知之¹, 福森 隆次¹, 堀口 よし江¹, 戸田 潤¹, 田口 恭治¹(¹昭和薬大)

【目的】昭和薬科大学（以下、本学）では、平成24年3月に薬学6年制課程の学生が初めて卒業し、その内92名が薬局もしくはドラッグストアへ就職した。今回、在学中に経験した4年次の実務実習事前学習（以下、事前学習）及び5年次の薬局実務実習（以下、薬局実習）が、就職後の医療現場でどの程度教育効果があったかを確認するためにアンケート調査を行った。

【方法】対象は、本学を平成24年度に卒業し、薬局またはドラッグストアに就職した卒業生92名とした。調査は、大学での事前学習及び薬局実習の実習内容を項目に分け、それらが就職後の医療現場でどの程度役に立ったかについて5段階評価尺度及び自由記述に基づく自記式アンケート調査によって行った。さらに、事前学習もしくは薬局実習でもっと学びたかった項目についても調査した。

【結果・考察】事前学習の中で役に立っていると評価された項目は、「散剤・水剤の計量調剤」、「吸入剤の使い方」、「服薬指導」であり、薬局実習の中で役に立っていると評価された項目は、「計数・計量調剤と鑑査」、「服薬指導」であった。このように、事前学習及び薬局実習において計数・計量調剤や服薬指導の教育効果を確認することができた。このことから、これらの項目は、現場に則した実践的な内容の実習が行われていたと推察される。一方、事前学習の中では、「漢方製剤」、「注射剤の混合」は役に立っていないという評価が多かった。また、事前学習もしくは薬局実習でもっと学びたかった項目は、「一般用医薬品」、「保険請求」、「調剤報酬」、「服薬指導」であった。今回の結果を基にして、今後より卒業後の医療現場で役立つ実習を構築するために、大学教員と指導薬剤師が連携して実習内容を検討したい。